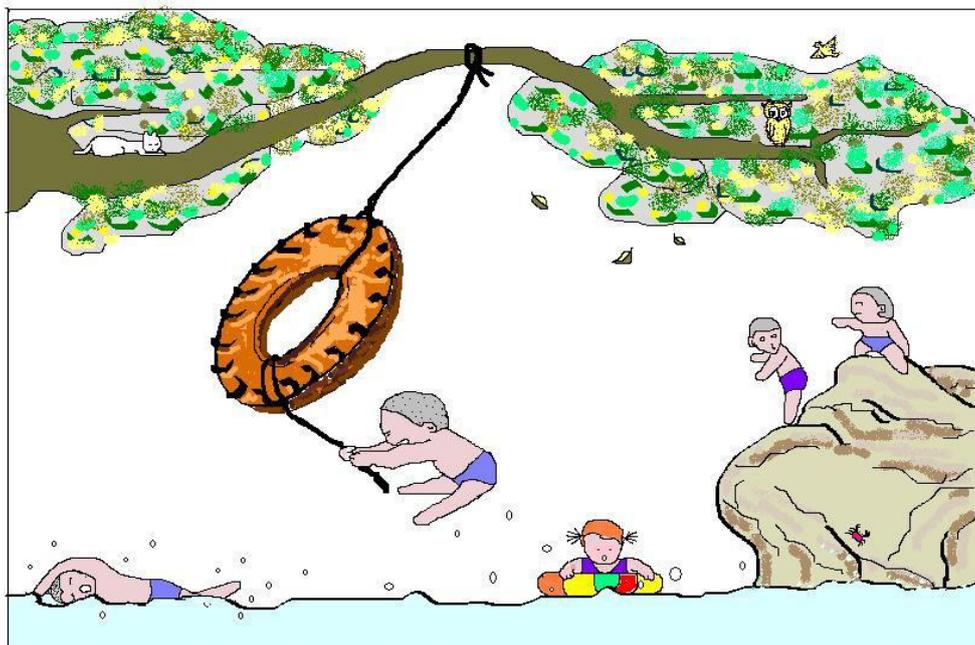


ここが知りたい

路木ダム

質問と答え
(改訂版)



2008. 6. 29

「ここが知りたい **路木ダム**」

パンフレット編集委員会 編

目次

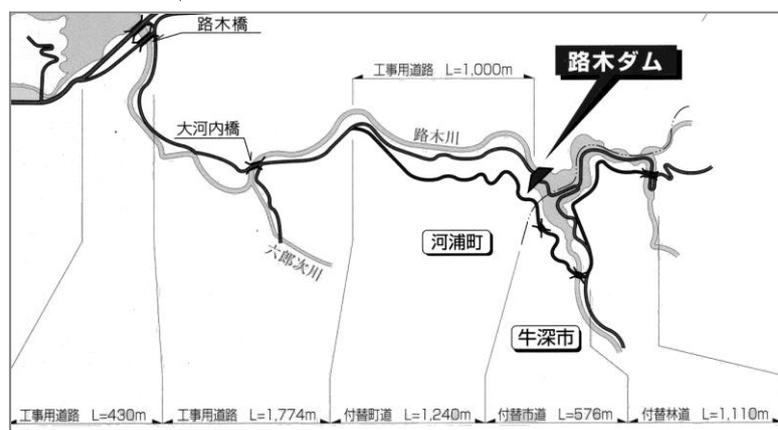
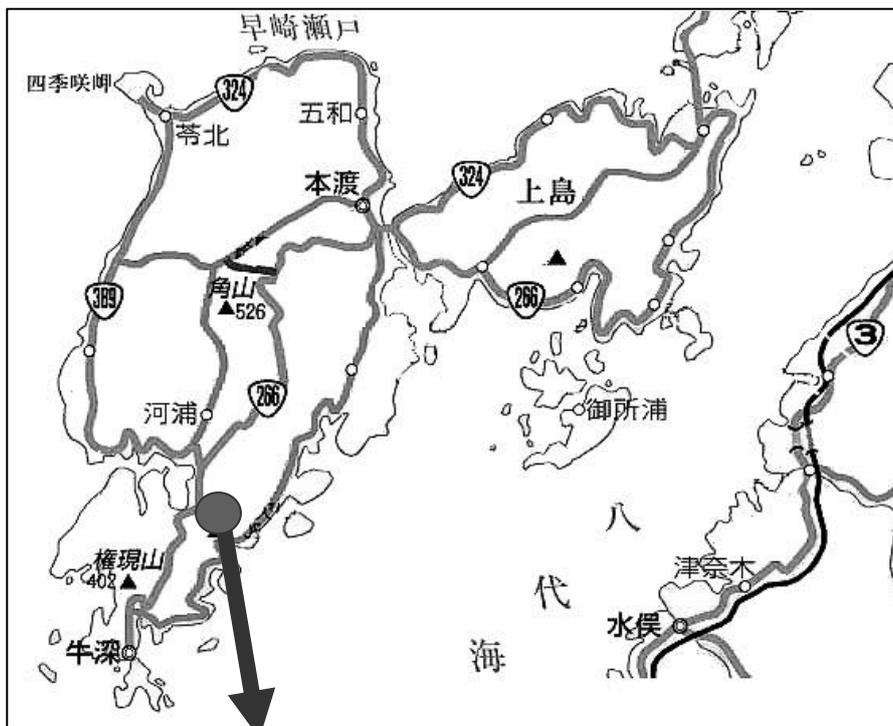
| | |
|---|----|
| 目次 | 1 |
| Q1：路木ダム建設計画ってどこに予定されていますか | 3 |
| Q2：路木川ってどんな川ですか | 4 |
| Q3：路木ダムを造る目的はなんですか | 5 |
| Q4：路木ダム建設計画ってどんな内容ですか | 5 |
| Q5：治水(洪水)対策にはダムを造らないといけない のですか | 6 |
| Q6：でも下流域の水田が冠水したことなどがありますが | 7 |
| Q7：県の資料では「昭和57年7月等の豪雨による 洪水時には、下流宅地において約100棟の 床上浸水が発生した」とありますが | 8 |
| Q8：河浦町の一町田地区では水質が悪く、 路木ダムの清浄な水を望む声がありますが | 9 |
| Q9：水が不足している地区があると聞きましたが | 10 |
| Q10：ところで天草市の人口は減り続けていますが、 牛深地区ではどうなっていますか | 11 |
| Q11：それなら、水道の使用量も減っていますか | 12 |
| Q12：しかし、牛深地区では干ばつの時の水不足が 不安です | 13 |
| Q13：路木川の近くの古江地区で米を作っています。 ダムができたら農業用水にも使いたいのですが | 14 |
| Q14：県は、多くの生きものが生息し、うるおいを感じる 路木川の環境、いわゆる河川環境を守るためにも ダムが必要だと言っていますが | 15 |

目次（続き）

| | |
|---|----|
| Q15：路木川が注ぐ羊角湾で漁業をしています。 ダムによる影響はありませんか | 16 |
| Q16：そのような具体例がありますか | 17 |
| Q17：でも、ダムを造ろうとしている県がちゃんと調べて いるのではないんですか | 17 |
| Q18：ところで、改めて聞きますが、羊角湾ってどんな湾 ですか | 18 |
| Q19：路木ダム建設の費用はいくらですか | 19 |
| Q20：それだけの費用でわが家の蛇口まで水がくるんですか | 19 |
| Q21：それなら、路木ダムを造ることで 水道料金が上がりませんか | 20 |
| Q22：本当にそれだけでおさまりますか | 20 |
| Q23：天草市は財政状態が非常に厳しいと聞いていますが | 21 |
| Q24：路木ダム建設は私たちの暮らしにどう影響しますか | 22 |
| Q25：路木川はとてもきれいな川です。うちの子どもは 毎年路木川で泳ぐのを楽しみにしています。 ダムができて同じように泳げるでしょうか | 23 |
| Q26：路木ダム本体建設は始まっているのですか | 24 |
| 私達の提案 | 25 |
| 路木ダム諸元 | 26 |
| 終わりに | 26 |

Q1：路木ダム建設計画ってどこに予定されていますか。

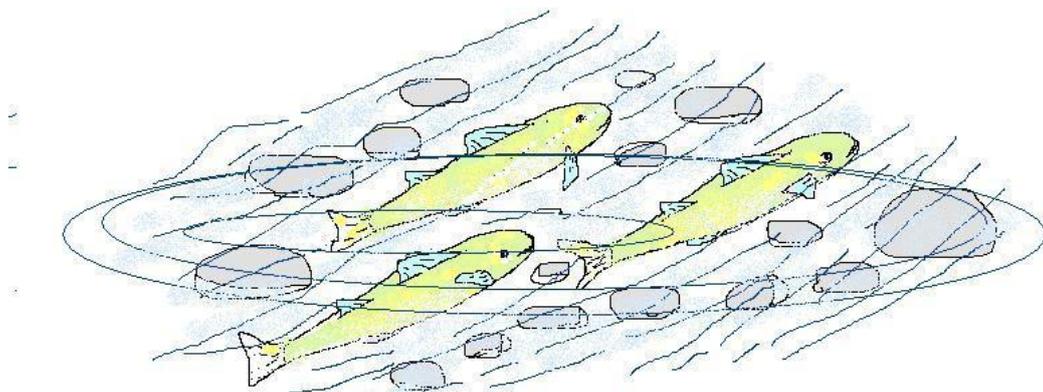
A：天草の下島南部の河浦町南部の路木地区にあり、周囲は山に囲まれ、羊角湾の奥に流れ込む路木川の中ほどに計画されています。



(熊本県パンフレットより)

Q2：路木川ってどんな川ですか。

A： 路木川は天草でもめずらしくなった自然の清流があり、その流れは干ばつでも途切れたことがないといわれています。中流域ではゲンジボタル、下流域では天然のアユの遡上やテナガエビなどが見られます。今でもたくさんの子どもたちがこの川で遊んでいます。



県の調査結果では、AA類型に相当し、非常に清浄な川で、流量は過去40年間の調査で、渇水の時でも年間で355日は1日3,400 m³を下らない流れ（平均渇水流量）がある、素晴らしい流量を維持しています。

Q3：路木ダムを造る目的はなんですか。

A： 熊本県は、水害防止（治水）、水道用水確保（利水）、路木川の環境保持（流水確保）のためと説明しています。



Q4：路木ダム建設計画ってどんな内容ですか。

A： 県の資料によると路木川に総貯水量 229 万トンのダムを造ることによって、①洪水を調節し下流の水害を防ぐ、②1日 4600 トンの水道水を供給する（牛深地区 3000 トン、河浦地区 1600 トン）、③路木川の流水確保となっています。

Q5：治水(洪水)対策にはダムを造らないといけないのですか。

A： いいえ。

路木川流域には、河口に数戸の人家がありますが、大きな水害にあった記録はありません。

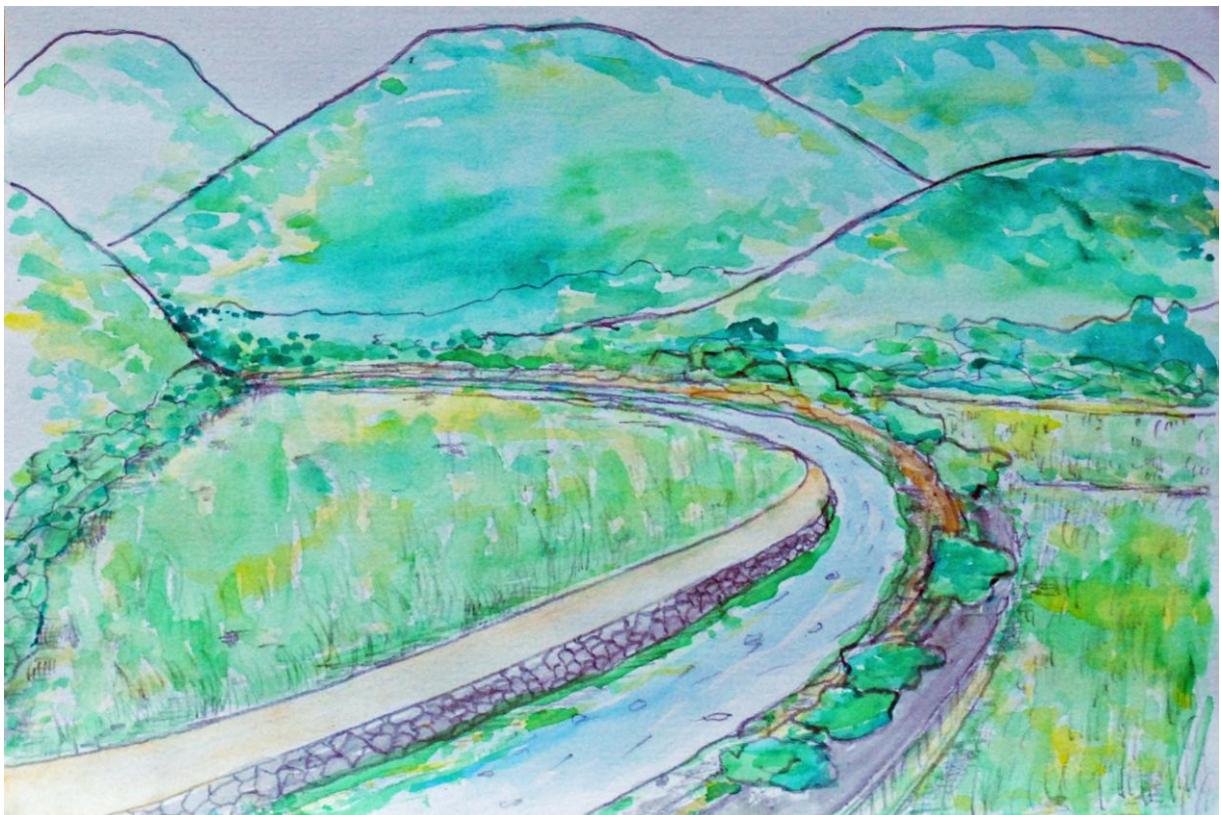
また、人家が集中する路木地区も、山により路木川と隔てられた地形のため水害の危険性はなく、ダムによる治水対策は必要ありません。



Q6：でも下流域の水田が冠水したことなどがありませんか…

A：そうですね。

冠水の恐れのある水田を守るためには、河川改修や護岸工事などを行なえば巨額なダムを造るよりもはるかに早くて安上がりですみます。



かさ上げ護岸工事の模式図(左岸堤防省略)

Q7：県の資料では「昭和57年7月等の豪雨による洪水時には、下流宅地において約100棟の床上浸水が発生した」とありますが…

A：確かにその通り県の資料には書いてあります。

でも、私達の現地調査や河浦町の資料では路木地区の床上浸水数は「ゼロ」です。

そもそも路木地区には100棟もの人家はありません。

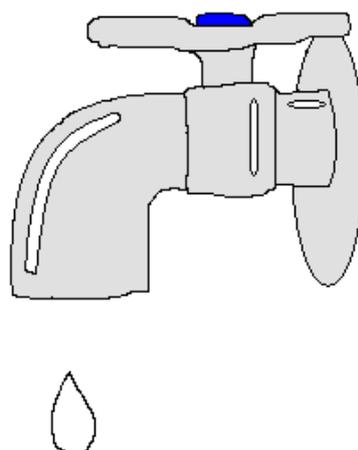
「路木川河川整備計画（平成13年1月 熊本県）」

路木川の治水事業は、局部的に災害復旧工事が行われているが、抜本的な改修は実施されておらず、十分な整備状況にまで達していないことから、下流区間で洪水を流下させる河道の断面積が小さく、昭和57年7月等の豪雨による洪水時には、下流宅地において約100棟の床上浸水、中流部水田においては約8haの農作物被害等が発生している。そのため、沿川地域の生命・財産を洪水被害から守る治水計画の立案・実施が急務となっている。た

Q8：河浦町の一町田地区では水質が悪く、路木ダムの清浄な水を望む声がありますが…

A： 現在、一町田地区簡易水道には十分な浄化能力を持った施設があるとは言えないのですが、水は十分足りています。

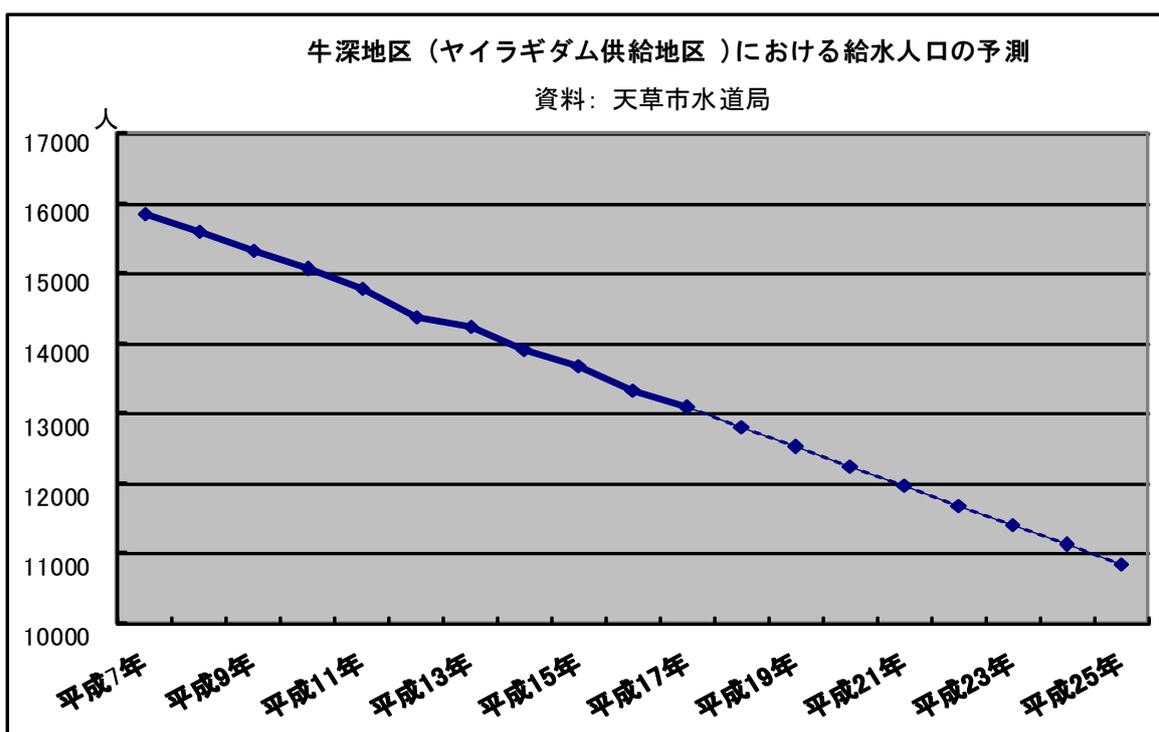
浄水場を整備することによって現在の簡易水道の水質は改善されます。ダム建設と水質改善は別の問題です。



Q10：ところで天草市の人口は減り続けていますが、牛深地区ではどうなっていますか。

A：平成7年に約16,000人いた給水人口が、平成20年には約12,000人まで減りました。

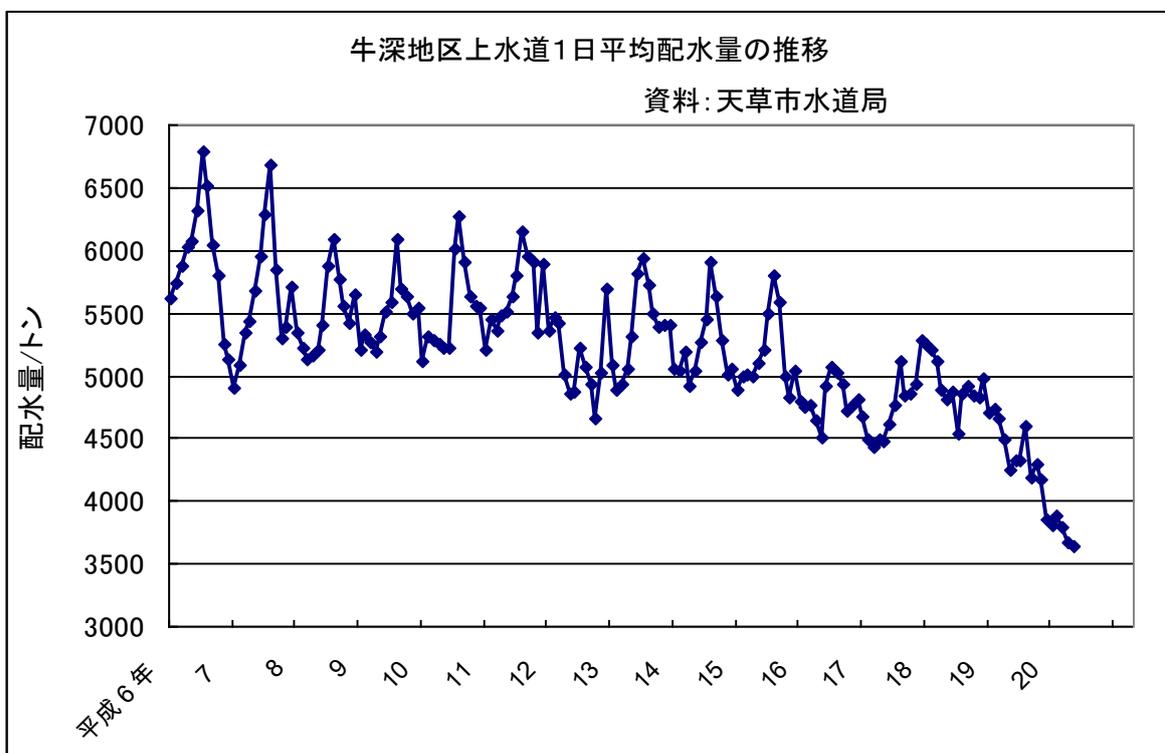
天草市は路木ダム完成予定の平成25年には約11,000人まで減少すると予測しています。しかし、合併後の人口減少はこの予測を上回っています。



Q11：それなら、水道の使用量も減っていますか。

A：はい。平成6年の1日平均使用量約6,000トンが、最近(平成20年)では約4,000トン未満まで減少しています。

今後、人口の減少とともに使用量が下がっていくことは天草市も予測しています。





豊かな流れの路木川

Q12：しかし、牛深地区では干ばつの時の水不足が不安です。

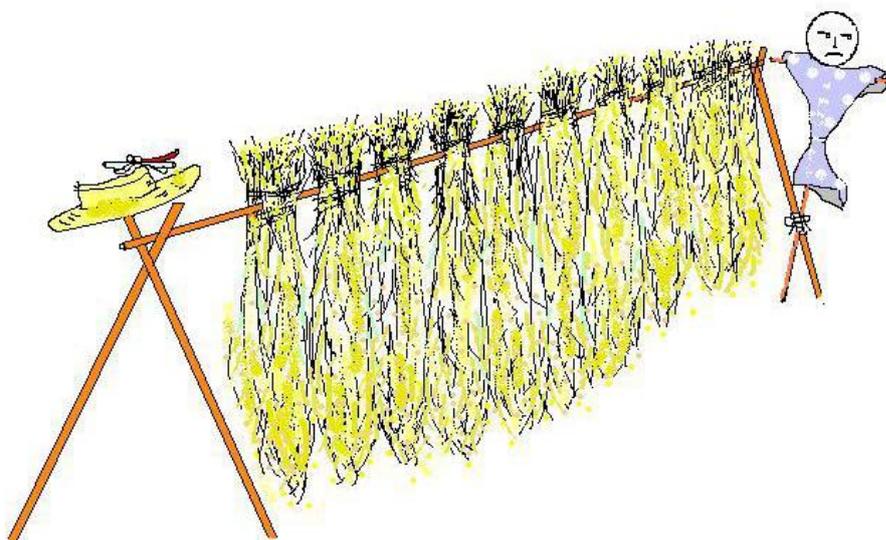
A： 牛深地区の渇水対策はたしかに必要です。

それには路木川や一町田水系の豊かで安定した流れの一部を取水し、活用することです。

そうすれば、あらたに巨額のダムを造るよりはるかに安く、早くしかもよい水質の水が確保できます。

Q13：路木川の近くの古江地区で米を作っています。ダムができれば農業用水にも使いたいのですが。

A： 残念ながら計画では水道用水への利用が主で、新たな農業用水への利用予定（計画）はありません。必要な地域には、八久保川砂防ダム・赤城ダムの水を利用する、路木川の豊かな流れの一部を取水し活用する、需要に見合った新たな貯水池を整備するなどの総合的な利水事業を行なうべきです。



Q14：県は、多くの生きものが生息し、うるおいを感じる路木川の環境、いわゆる河川環境を守るためにもダムが必要だと言っていますが…。

A：とんでもない発想です。路木川の環境を守るには、ダムを造らないことです。

ダムができると、下流域は不自然に変化し、生き物の生息環境は変わってしまいます。また、こどもたちが自然に触れながら川遊びする場所もなくなってしまいます。



Q15：路木川が注ぐ羊角湾で漁業をしています。

ダムによる影響はありませんか。

A： 重大な影響が考えられます。

川は山からの土砂や森の栄養分を海に運んでいます。

これらは魚介類が育つうえで必要不可欠なものです。

ダムができるとそれらが断ち切られるため、羊角湾地域の地場産業である漁業や真珠養殖などの水産業は大きな影響を受けるでしょう。



Q16：そのような具体例がありますか。

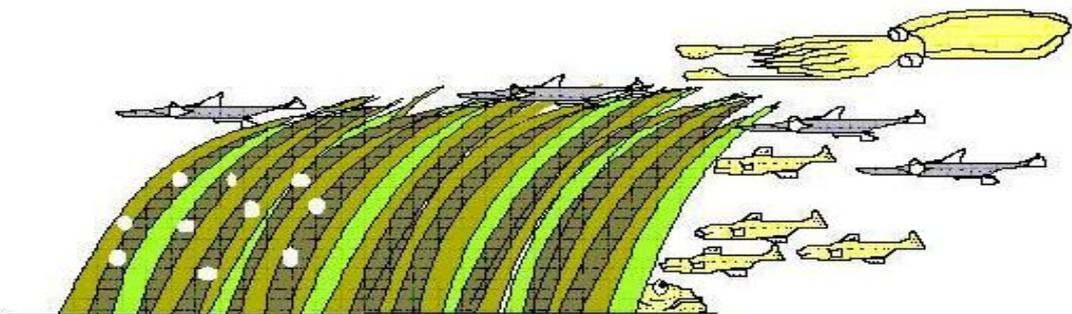
A： 大きなダムが相次いでできた球磨川河口の漁師さんは、「砂がダムでせき止められて干潟がヘドロ化した」、「藻場がなくなってしまった」などと証言しています。
当然漁獲量も激減しました。

Q17：でも、ダムを造ろうとしている県がちゃんと調べているのではないんですか。

A： いいえ。
県は、ダムを造ることによって羊角湾の漁業に影響が出るなんて予想していないらしく、漁業への影響など調べていません。

Q18：ところで、改めて聞きますが、羊角湾ってどんな湾ですか。

A： 羊角湾の干潟には80種を超える絶滅危惧種の貝類、甲殻類、^{えんせい}塩性^{しっちしょくぶつ}湿地植物（潮の干満の影響を受けて、いつも湿った状態となっている塩分を含んだ砂地や泥地に生えている植物ヒロハマツナなど）が群生し、日本でも他に例を見ない貴重な干潟です。
また、養殖産業の重要な生産場所であり、日本の南限のアマモ群生場は魚介類の産卵と稚魚をはぐくむゆりかごととして、天草灘の沿岸漁業を支えています。



Q19：路木ダム建設費用はいくらですか。

A： 平成4年度の計画書では90億円
（負担割合：熊本県83%、天草市
17%）です。

しかし、近年天草内に造られたダ
ムの実際の建設費は計画の1.4～
1.7倍かかりました。

Q20：それだけの費用でわが家の蛇口ま
で水がくるんですか。

A： いいえ。

天草市ではダム建設の地元負担
分と水道施設建設費を合せて約
77億円かかると試算しています。

Q21：それなら、路木ダムを造ることで水道料金が上がりませんか。



A：上がります。

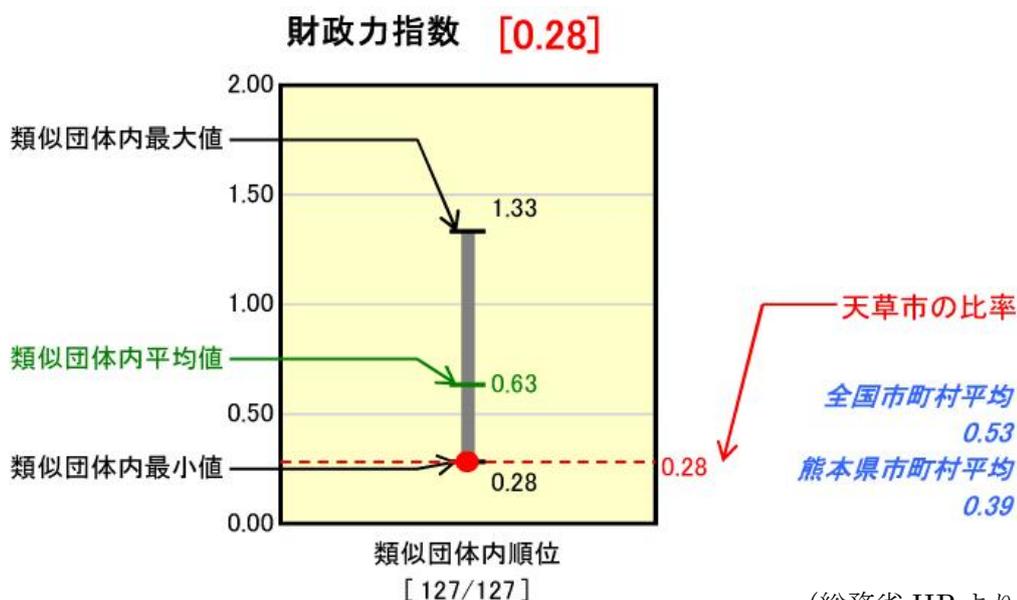
現在、旧市町でまちまちの水道料金は近い将来統一されます。天草市の試算では、そこからさらに約20%の値上げとなりそうです。

Q22：本当にそれだけでおさまりますか。

A：市の試算は16年も前に作られた計画のダム建設費と現在の水道料金収入が前提です。ダム建設費がふくれあがり、人口が減るとさらなる値上げとなって天草市民全体に影響が及びます。

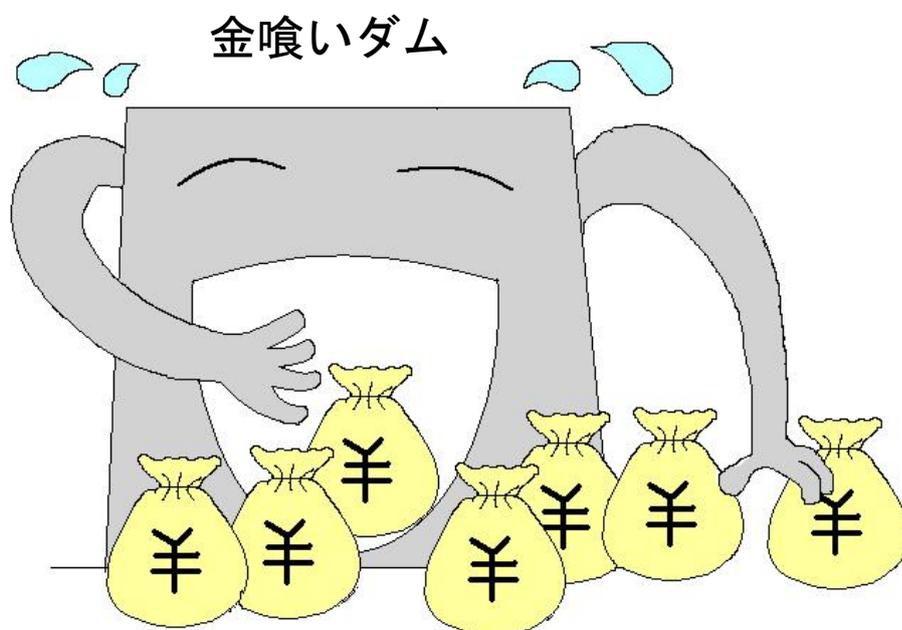
Q23 : 天草市は財政状態が非常に厳しいと聞いていますが…

A : はい。総務省のまとめによると、人口や産業構造等が似た全国127自治体中、財政力で最下位、市の借金（市民1人あたり）は111位となっています。借金は約1000億円もあり、天草市の財政は危機的な状況です。このまま路木ダム建設と関連事業を進めれば、天草市の財政をさらに圧迫することは避けられません。



Q24：路木ダム建設は私たちの暮らしに
どう影響しますか。

A： 先に述べた水道料金の大幅値上げ
に加えて、天草市においてこれか
らますます必要となる福祉、医療、
教育などの住民サービスが低下し
て大きな影響を受けることは間違
いありません。



Q25：路木川はとてもきれいな川です。
うちの子どもは毎年路木川で泳ぐ
のを楽しみにしています。
ダムができて同じように泳げる
でしょうか。

A： 落ち葉などがダムの底にたまって
水がよどみ、下流は汚れて濁ります。
水量も減ります。今のように清流で
泳いだり、水遊びをすることはむず
かしいでしょう。

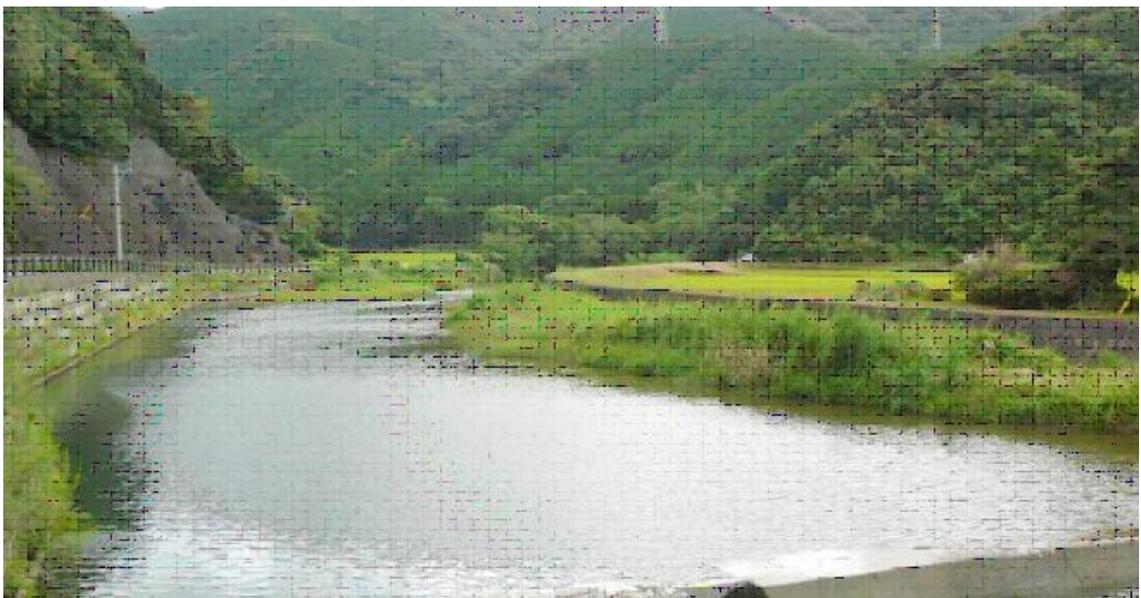


Q26：路木ダム本体建設は始まっているのですか。

A： いいえ。

取り付け道路などの周辺工事が始まっているだけで、ダム本体の工事はまだです。

すでに工事用道路や付け替え道路等などが出来上がっていた上天草市の姫戸ダム建設が止ったように、建設根拠（理由）のないダム造りは止めさせなければいけません。



路木川河口ーこの上流にダム建設が予定されている

私たちの提案

路木ダムは造らない。

治水対策：

必要なところへの護岸工事をおこなう。

水道水確保（河浦町）

給配水施設を整備する。

渇水対策（牛深地区）

路木川・一町田川水系の豊かな流れを活用する。

路木川

天草の宝である清流を残す。

子供たちの遊び場を守る。

羊角湾

豊かな自然環境を残す。

魚湧く海をとりもどす。

路木ダム諸元（貯水量、大きさなど）

| | （平成5年3月計画） | （平成16年11月計画） |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ダムの総貯水容量 | 1,900,000 m ³ | 2,290,000 m ³ |
| 有効貯水容量 | 1,730,000 m ³ | 2,080,000 m ³ |
| 堤高 | 45.5m | 53m |
| 堤長 | 200m | 180m |
| 堆砂容量 | 210,000 m ³ | 210,000 m ³ |
| 常用洪水吐き | 3m×3m×1門 | 2m×2m×1門 |
| 常時満水位 | 79m | 81.5m |
| 最低水位 | 60m | 65.2m |
| 計画高水流量（ダムサイト） | 150 m ³ /s | 130 m ³ /S |
| 基本高水ピーク流量（大河内橋） | 190 m ³ /s | 140 m ³ /S |
| 洪水調整量 | 40 m ³ /S | 94 m ³ /S |
| 計画高水 T. P（大河内橋） | m | 11.7m |
| 洪水調整容量 | 800,000 m ³ | 1,160,000 m ³ |
| 流水の正常な機能の維持 | 600,000 m ³ | 320,000 m ³ |
| 上水道の確保（日量 4,600 m ³ ） | 330,000 m ³ | 600,000 m ³ |

終わりに

以上のように、路木ダムの建設目的は完全に破綻しています。

洪水で家屋が浸水したなどウソの被害データをでっち上げ、周辺の豊富な河川水を利用しないでダムを造るなんて、税金のムダ使いの極みです。

この冊子は2007年9月29日発行のものに利水や財政に関する部分を付け加えて改訂版として作りました。

路木ダム建設で後世に悔いを残さないために、この冊子を活用していただければ幸いです。

2008.6.29

「ここが知りたい **路木ダム**」一質問と答え（改訂版）

2008年6月29日

編集：「ここが知りたい **路木ダム**」パンフレット編集委員会

路木ダムを考える河浦住民の会

羊角湾で真珠を育む会

羊角湾を守る漁民の会

天草の海を考える会

連絡先：〒863-0001 天草市本渡町広瀬 1225-4 植村方

（カンパ300円＋郵送料）